

# 見守り

シリーズ～詩編～

2015/2/15

# 詩編121篇〈新共同訳〉

【都に上る歌。】

目を上げて、わたしは山々を仰ぐ。

わたしの助けはどこから来るのか。

わたしの助けは来る

天地を造られた主のもとから。

どうか、主があなたを助けて

足がよろめかないようにし／まどろむ

ことなく見守ってくださいるように。

見よ、イスラエルを見守る方は

まどろむことなく、眠ることもない。

主はあなたを見守る方／あなたを覆

う陰、あなたの右にいます方。

昼、太陽はあなたを撃つことがなく

夜、月もあなたを撃つことがない。

主がすべての災いを遠ざけて

あなたを見守り

あなたの魂を見守ってくださいるように。

あなたの出で立つのも帰るのも

主が見守ってくださいるように。

今も、そしてとこしえに。

# 詩編121篇<新改訳>

## 都上りの歌

私は山に向かつて目を上げる。私の助けは、どこから来るのだらうか。

私の助けは、天地を造られた主から来る。

主はあなたの足をよろけさせず、あなたを守る方は、まどろむこともない。

見よ。イスラエルを守る方は、まどろむこともなく、眠ることもない。

主は、あなたを守る方。主は、あなたの右の手をおおう陰。

昼も、日が、あなたを打つことがなく、夜も、月が、あなたを打つことはない。

主は、すべてのわざわいから、あなたを守り、

あなたのいのちを守られる。

主は、あなたを、行くにも帰るにも、今よりとこしえまでも守られる。

# 詩編121篇〈新共同訳〉

【都に上る歌。】

目を上げて、わたしは山々を仰ぐ。

わたしの助けはどこから来るのか。

わたしの助けは来る。

天地を造られた主のもとから。

どうか、主があなたを助けて

足がよろめかないようにし／まどろむ

ことなく見守ってくださいるように。

見よ、イスラエルを見守る方は

まどろむことなく、眠ることもない。

主はあなたを見守る方／あなたを覆

う陰、あなたの右にいます方。

昼、太陽はあなたを撃つことがなく

夜、月もあなたを撃つことがない。

主がすべての災いを遠ざけて

あなたを見守り

あなたの魂を見守ってくださいるように。

あなたの出で立つのも帰るのも

主が見守ってくださいるように。

今も、そしていつしえに。

# 「都に上る歌」

## □ シリーズ詩編

- 120篇から134篇までの15の詩編には「**都に上る歌**」というタイトルが付されている

## □ 特別な時に歌われていた

- 神殿内の婦人の庭から男子の庭へと上る15階段でレビ人が歌った歌
- バビロンからエルサレムへの帰還者のために作られた歌
  - 「主がシオンの捕われ人を連れ帰られると聞いて」126:1
- 三大祭の時にエルサレムに上る巡礼の歌

# わたしの助け主

目を上げて、わたしは山々を仰ぐ。  
わたしの助けはどこから来るのか。  
わたしの助けは来る。  
天地を造られた主のもとから。

- 「山々」とは神殿のあるエルサレムの山々のこと
  - エルサレムは標高790mの山地
- 「目を上げて」
  - 困難な道のりを進む巡礼者が、ふと視線を上げ、エルサレムに思いをはせている
- わたしの助け主は天地万物の創造主である
  - 自問自答して自らに言い聞かせる
  - これ以上の助け主はいない!

# 24時間体制

どうか、主があなたを助けて  
足がよろめかないようにし／まどろむ  
ことなく見守ってくださいように。  
見よ、イスラエルを見守る方は  
まどろむことなく、眠ることもない。

- 「わたし」から「あなた」へ
  - 自問自答して確認し、祈りと励ましの言葉に変わる
- 主は「見守って」おられる
  - 「守る」のか「見守る」のか？
  - 原語は「警備する」の意
- 旅路を見守られる主
  - 人生の歩みがつまずいたり、よろめいたりしないように
- 24時間体制で！
  - わたしたちはまどろみ眠るが…

# 災いを防いでおられる

主はあなたを見守る方／あなたを覆う**陰**、あなたの**右にいます方**。

昼、**太陽**はあなたを撃つことがなく  
夜、**月**もあなたを撃つことがない。

主が**すべての災いを遠ざけて**

あなたを見守り

あなたの**魂**を見守ってくださいさるように。

- 気がつかないけれど確実に見守られている
  - 何かが日光を防いでいるから「陰」ができるように
- 「右にいます方」
  - 「インマヌエル」なる方、キリストによって証明された
- 太陽の熱も、月の妖気も届かない
  - 昔、月は病気の原因と考えられていたらしい
- 最も守られるべきは「魂」



# 永遠に変わらない

あなたの出で立つのも帰るのも  
主が見守ってくたさるよつに。  
今も、そしていつしえに。

- 生活のあらゆる場面を見守っておられる
  - 家を出てから帰るまで／もちろん帰ってからも!
- 今までもこれからも
  - 主は永遠に変わることなく見守り続けて下さる

# 目を上げよう!

- 下(現実・この世の出来事)ばかり見ていると
  - 気持ちが沈み, 思いわずらい, 希望を失う
- 目を上げると
  - 心の目を天に向ける
  - わたしたちを見守っておられる方のことを思い出す
- わたしたちを見守っておられる方は
  - 天地万物の創造主である
  - 24時間, 手を抜くことなく見守っておられる
  - 「インマヌエル」(神がともにおられる)なる方
  - あらゆる災いを防いでおられる
  - どんな時でも, そして永遠に変わらない

# 聖歌 507 “私は高い山を”

- ①私は高い山を見上げる 私を助けたもう お方は  
天と地を造り上げて おさめる御神(みかみ)なのだ
- ②天と地の造り主は  
あなたがよろめき倒れるのをゆるさず  
まどろむこともせずに あなたを守られます
- ③あなたを守るものは  
あなたの右の手おおい守る こかげだ  
昼は太陽 夜は月 あなたをそこなわない
- ④あなたはわざわいから守られ  
意味なく危ない目にあわない  
あなたの ではいりには 御神の守りがある